

備前市事務事業評価表

事務事業名	障害程度区分認定事業	コード	02-01-03-17
		担当課・係	福祉事務所障害者福祉係
		担当者	田中淳一
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日		
	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者(児)福祉	
電話	内線183		

事業について	
目的(何のために)	障害福祉サービスの必要性を明らかにするため、障害者の心身の状態を総合的に表す区分として障害程度区分を決定し、市がサービスの種類や量を決定する際のめやすとして利用する。
対象(誰・何を対象に)	福祉サービスを利用する障害者
内容	介護認定の79項目に行動、精神面等に関する項目などの27項目を調査し、1次判定を行い、その結果を審査会で判定し、障害程度区分1から6の区分に分ける。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
障害程度区分判定数		136件	
事業費(単位:千円)	事業費 人件費 合計	財源 市債 一般財源等	事業費 人件費 合計
	0	0	0

必要人員	0.30人
結果指標	障害程度区分判定数
結果指標量	136件
対前年比	0.00%
活動にかかるコスト	7,167,000円
単位当たりコスト	52,698円

事業の成果	どのような成果を得ようとしているか	福祉サービス利用者の障害程度区分を判定し、障害の程度に合ったサービスやサービス量を支給する。
成果指標名	障害程度区分判定数	式又は説明
成果指標量	17年度	18年度
対前年比	0.00%	
到達目標値	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 対象の妥当性 <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である 市民ニーズの妥当性 <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である 市の関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	妥当性評価<A~E> B 課題認識
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている 職場の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	効率性評価<A~E> C 課題認識 初年度であり、効率的に行えなかった部分もあった。
有効性の評価	目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある 市民参画度 <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> A 課題認識 申請があったものについてはすべて審査することができた。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 18年度の判定結果は3年間有効であるため、19年度は新規申請者の認定がほとんどである為、件数は減少する。
-----------	---	--	--

目標値	結果指標量	結果指標量
-----	-------	-------

総合評価	申請があったものについては適正な区分判定がされた。	評価区分 <A~E> B
------	---------------------------	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果